

院内フォーミュラリ (Ca拮抗薬：ジヒドロピリジン系)

第一選択薬

第二選択薬

アムロジピンOD錠2.5mg

ニフェジピンCR錠20mg
アゼルニジピン錠16mg

ベニジピン塩酸塩錠4mg
アテレック錠10

第一選択薬：有用性が高く、最も使用頻度が高い。「高血圧治療ガイドライン2019」より

第二選択薬：特性に応じて選択。

※ 成人の高血圧症に対するフォーミュラリであることに留意する。

(参考) Ca拮抗薬比較表

成分名 (先発品名称)	用法	通常用量		最大用量	特性	サブタイプ
アムロジピン (アムロジン)	1日1回	2.5mg	5mg	10mg	OD錠の発売がある CYP3A4で代謝されるが影響が少ない	L型
ニフェジピン (アダラートCR)		20mg	40mg	80mg ※1日2回に分割	粉砕不可(徐放性) 妊婦への適応(妊娠20週以降)あり	L型
ベニジピン (コニール)		2mg	4mg	8mg	尿蛋白抑制効果あり 反射性頻脈が起こりにくい	L,T,N型
アゼルニジピン (カルブロック)		8mg	16mg	16mg	頻脈傾向の患者への使用を推奨 CYP3A4で代謝(併用禁忌あり)	L,T型
シルニジピン (アテレック)		5mg	10mg	20mg	腎保護作用あり	L,N型
エホニジピン(ランデル)	1日1~2回	20mg/日	40mg/日	60mg/日		L,T型
ニルバジピン(ニバジール)	1日2回	4mg/日	8mg/日	8mg/日	院内採用あり	L型
ニカルジピン(ペルジピンLA)		40mg/日	80mg/日	-	同一成分注射薬あり	L型
フェロジピン(スプレンジール)		5mg/日	10mg/日	20mg/日		L型
ニトレンジピン(バイロテンシン)	1日1回	5mg	10mg	-		L型
バルニジピン(ヒポカ)		10mg	15mg	-		L型
マニジピン(カルスロット)		10mg	20mg	-		L型